

平成15試験研究成果

区分	普及	題名	岩手地鶏を活用した特産肉用鶏の開発		
[要約] 岩手地鶏を活用した特産肉用鶏を開発した。 新しい特産鶏は、天然記念物「岩手地鶏」の血液が入り、岩手独自のものである。また、在来鶏血液百分率は、62.5%あり、特定 JAS 規格「地鶏肉」の条件である 50%以上を満たしている。 特徴は、「南部かしわ」とほぼ同等の食味であり、かつ早熟で生産性に優れる。					
キーワード	岩手地鶏	基礎鶏	早熟	畜産研究所 家畜育種研究室	

1 背景とねらい

当研究所が開発した特産鶏である「南部かしわ」は、ホワイトロックの雄と、ロードアイランドレッドの雌を交配した雌に、軍鶏を交配し作出している。しかし、このホワイトロック及び軍鶏は、独立行政法人 家畜改良センター兵庫牧場から、毎年種卵で譲渡されたものを孵化して利用しており、地域特産としてのオリジナル性に乏しい状況にあった。

そこで、本県在来の「岩手地鶏」を活用したコクがあり美味しい独自の特産鶏の開発を行った。

2 成果の内容

(1) 新しい特産肉用鶏の交配様式

基礎鶏 × (ホワイトロック × ロードアイランドレッド)

岩手県にのみ生息する天然記念物である「岩手地鶏」を活用した初めての「特産鶏」である。

在来鶏血液百分率が 62.5%であり、特定 JAS 規格「地鶏肉」の条件である 50%以上を満たしている。

基礎鶏:軍鶏 × (有色コーニッシュ × 岩手地鶏(赤笹系))

(2) 新しい特産肉用鶏の能力

雄は出荷基準を 2.8kg とすれば、12 週齢で出荷可能である(表 2)。12 週齢での正肉 1kg 当たり必要飼料費は、317 円である(表 3)。

雌は出荷基準を 2.8kg とすれば、16 週齢で、南部かしわより 2 週間早く出荷が可能である(表 2)。18 週齢での正肉 1kg 当たりの必要飼料費は、383 円であり、南部かしわの 402 円より経済的に若干優れる(表 3)。

雌の腿肉を利用した一対比較による官能試験の平均嗜好度の総合評価が高い(図 1 及び表 4)。

3 成果活用上の留意事項

(1) 雛は、畜産研究所からの供給となる。雛供給は、譲渡実績があり、引き続き飼養が見込める生産者及び新規に問い合わせがあり飼養希望のある生産者から譲渡希望調書をとるとともに、地方振興局等を通し飼養希望者を広く募り、ふ化計画を作成し譲渡を行うこととし、譲渡希望者が多い場合は、毎年開催する「南部かしわ研究会」に諮り調整を行い、当初計画になくても譲渡希望が少なく供給可能である場合は随時譲渡を行う。

「南部かしわ」の生産者及び関係者が、年に一度(2月頃)、雛調整と情報交換の場として行う研究会である。参集者の要望により本年度からは、2度開催を予定している(11,2月頃)。

事務局:畜産研究所
会長:畜産研究所長

(2) 長期肥育(22 週齢)の場合、南部かしわと比較すると正肉歩留が若干劣る。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

県内

(2) 期待する活用効果

各地域での「岩手県オリジナル特産鶏」としての販売

5 当該事項に係る試験研究課題

岩手独自の交雑種鶏を活用した組み合わせ検定

6 参考資料・文献

(1) 「岩手地鶏」を活用した高品質鶏肉生産のための基礎鶏の作出

(平成 12 年度 岩手県畜産研究所試験成績書)

(2) 南部かしわ雌の長期(5 ヶ月)肥育の経済性

(東北農業研究 第 52 号)

表1 試験供試鶏

区分	交配方法	性別	解体調査羽数			
			12	14	18	22 W
1	基礎鶏×N	雄	12	9	9	-
		雌	-	10	10	10
2	基礎鶏×(WR×RIR) (新特産鶏)	雄	12	9	9	-
		雌	-	9	10	9
3	JW×(WR×RIR)	雌	-	10	10	9
4	G×(WR×RIR)	雄	12	9	9	-
		雌	-	9	9	10

: WR:ホワイトロック、RIR:ロードアイランドレッド、N:名古屋種、JW:岩手地鶏(白笹系)、
G:軍鶏
:4区は、当研究所が昭和60年に開発した特産鶏「南部かしわ」

表2 発育成績

(g)

区分	雌雄	12週齢	14週齢	16週齢	18週齢	22週齢
1	雄	1,940 ± 163	2,357 ± 205	<u>2,810 ± 201</u>	3,136 ± 218	-
	雌	-	1,843 ± 99	2,077 ± 106	2,225 ± 129	<u>2,760 ± 147</u>
新特産鶏	雄	<u>2,921 ± 218</u>	3,511 ± 252	3,878 ± 242	4,122 ± 208	-
	雌	-	2,433 ± 185	<u>2,831 ± 227</u>	3,140 ± 265	3,867 ± 275
3	雌	-	1,363 ± 165	1,585 ± 168	1,719 ± 157	1,779 ± 103
南部かしわ	雄	<u>2,830 ± 204</u>	3,385 ± 267	3,928 ± 276	4,211 ± 297	-
	雌	-	2,307 ± 160	2,587 ± 149	<u>2,806 ± 163</u>	3,575 ± 203

表3 1羽当たり消費飼料量及び経済性

雌雄	区分	週齢	消費飼料量 (g)	正肉量 (g)	正肉 1kg	
					当たり必要 飼料費(円)	
雄	1	12	5,510	676	383	
		14	7,204	839	404	
		18	12,627	1,166	509	
	新特産鶏	12	6,917	1,026	<u>317</u>	
		14	9,061	1,266	337	
		18	13,983	1,570	418	
	南部かしわ	12	6,550	985	313	
		14	8,606	1,238	<u>326</u>	
		18	15,817	1,643	452	
	雌	1	14	5,633	700	379
			18	8,083	865	439
			22	11,983	1,078	522
新特産鶏		14	6,966	933	350	
		18	10,176	1,247	<u>383</u>	
		22	15,961	1,452	517	
3		14	4,333	489	417	
		18	6,583	642	481	
		22	11,250	634	834	
南部かしわ		14	6,724	881	359	
		18	9,624	1,125	<u>402</u>	
		22	14,254	1,368	489	

平均嗜好度

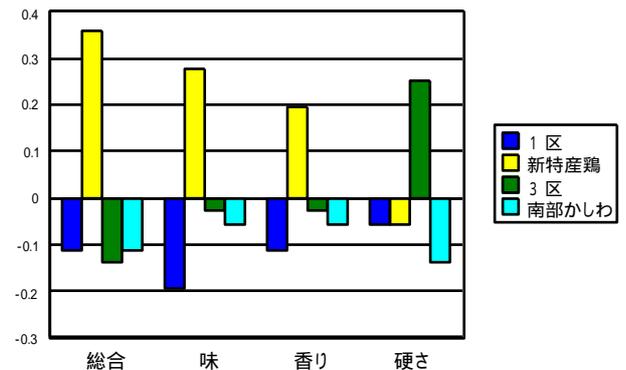


図1 官能試験(雌 腿肉 14W)による平均嗜好度

- 1 一対比較による評点の計を区数とパネラー数の積(4×9)で除したものの。
- 2 パネラー9人
- 3 評点:悪い-2,やや悪い-1,差が無い0,やや良い1,良い2

表4 新特産鶏と比較した各区の官能試験結果
(雌 腿肉 14W 総合評価)

区分	新特産鶏 が悪い	新特産鶏が やや悪い	新特産鶏 と差が無い	新特産鶏 がやや良い	新特産鶏 が良い
1区	0	3	0	5	1
3区	0	0	6	2	1
南部かしわ	0	1	2	6	0